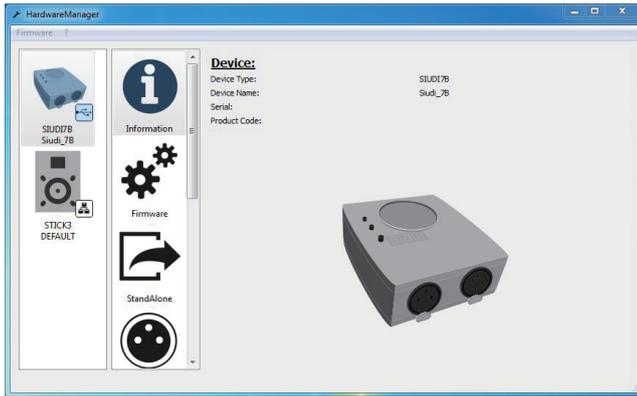


ハードウェアマネージャー



1. ハードウェアマネージャーではコントローラーのメンテナンスの手助けをします。ソフトウェアインストールフォルダからアクセスできます。

ダウンロードはこちら

ハードウェアマネージャー Mac 版→

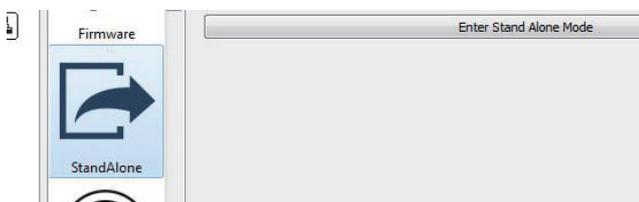
<http://www.dmxsoft.com/global/ftp/HardwareManager.dmg>

ハードウェアマネージャー PC 版→

<http://www.dmxsoft.com/global/ftp/hardwaremanager.zip>

Tools は SIUDI7,8,9 と Stick 製品に対応しています。SIUDI5,6 インターフェイスをおもちの場合は過去の Tools アプリケーションをご使用ください

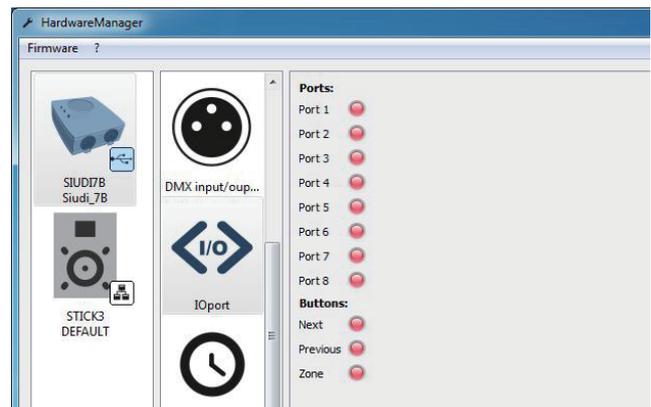
情報タブは製品の接続状態とシリアルナンバーを表示します。



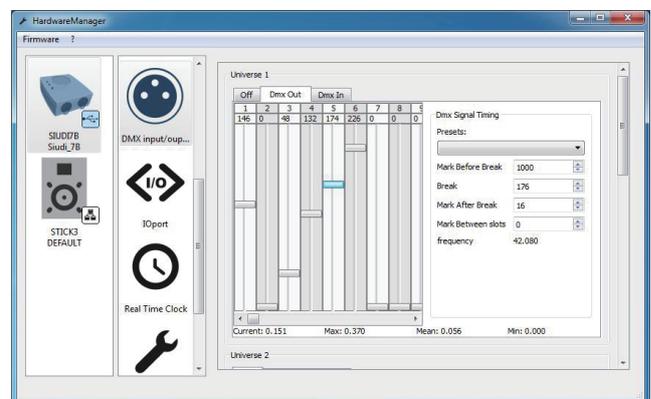
2. 製品のスタンドアロンのテストをするなら、コンピューターと接続しスタンドアロンタブをクリックしてください



3. ここでインターフェイスのファームウェアアップデートを行うことができます。ファームウェアはインターフェイス内に保存されアップグレードします。不具合の修正やバグフィックスなどが行われます。



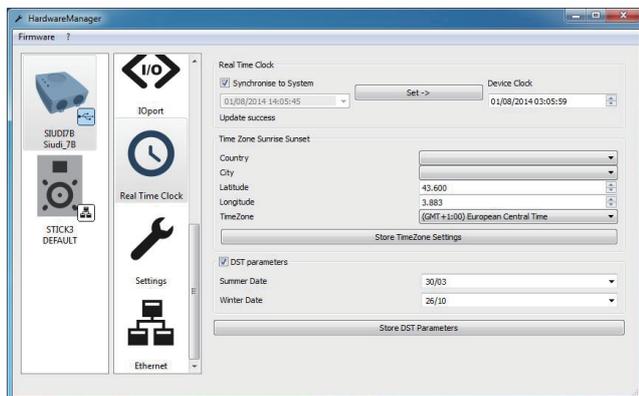
4. ここでドライ接点ポートとボタンによりテストすることができます。USB 接続してこのタブにアクセスしてください。



5. DMX 入力と出力は、DMX 入出力タブ上でかんたんにテストすることができます。もし、あなたのインターフェイスが 2 つの DMX 接続がある場合出力と入力を接続してください。

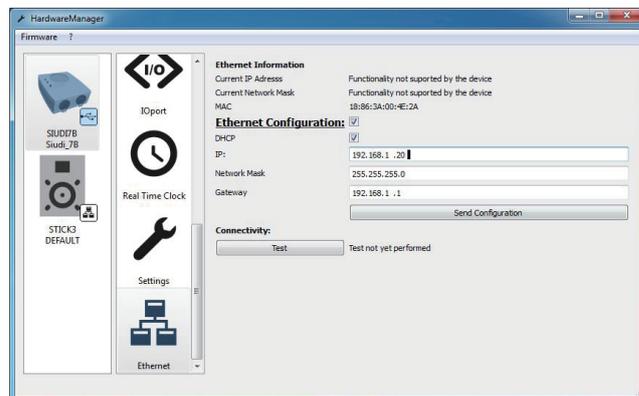
あなたのインターフェイスが DMX in タブ上で正確な値で動作している場合 DMX out タブ上でフェーダーを動かして変更してください。

選択されたユニバースの DMX タイミングは、右から調整することができます。これにより、両立問題の解決を手助けする DMX メッセージの各パート間のタイムの変更ができます。選択した Slow プリセットは、フィクチャーのフリッカー問題を解決することがあります。

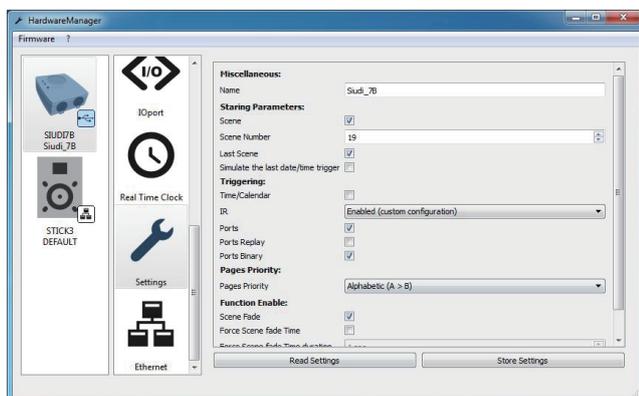


6. いくつかのインターフェースには内部クロックとカレンダーを備えています。windows クロック・カレンダーとの同期へのアップデートか、または日付と時間のカスタムを選択することができます。内蔵クロックから自動的に1時間進めるための開始・終了日の設定もできます。

両立したインターフェース接続がある場合、ロケーションの設定が可能になります。日の出・日の入りによるシーンのトリガーができるようになります。



8. Ethernet タブでは、接続してパスワードを入力したインターフェースの IP アドレスの変更をすることができます。USB からいくつかの設定のために接続する必要があります。



7. Setting タブは Hardware Features の設定ができます。始めのパラメーターグループは電源を入れた際にデフォルトするインターフェースのステートの設定することができます。

グループのトリガーにより、必要のない機能をしないようにすることとトラブルシューティングができます。もし、赤外線レシーバーをお持ちなら、Enable/Disable ができます。Enable (Custom Configuration) により、リモートのプログラムができます。また、Enable (Default Configuration) は公式リモート・コントロールが使用できます。

タッチセンサーインターフェース上のディマーフェーダーのような機能は、Function Enable Group を Disable にすることができます。もしマルチページインターフェースをお持ちの場合は、ページの優先順位を変更することができます。LTP は最後のシーンを優先します。

用途に合わせた設定ができましたら、ボタンをクリックしインターフェース上の Configuration ファイルを送信します。数秒おいて送信が終わった後は USB を抜いてもよいでしょう。

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。
 発売元：IDE コーポレーション有限公司
 〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24 / TEL06-6630-3990
 修理・サポートは販売店までご相談下さい。